

問1 1919年のアジアでは、第一次世界大戦の終結に伴う国際情勢の変化を受けて、各地で民族運動が活発化しました。この時期に中国と朝鮮半島でそれぞれ発生した運動の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 山形公立入試 類似）

1. 中国：五・四運動、朝鮮半島：三・一独立運動
2. 中国：辛亥革命、朝鮮半島：甲午農民戦争
3. 中国：義和団事件、朝鮮半島：日韓併合
4. 中国：五・三〇事件、朝鮮半島：光州学生独立運動

問2 第一次世界大戦を終結させるために1919年に開かれたパリ講和会議において、戦勝国と敗戦国のドイツとの間で締結された講和条約を選択肢から選びなさい。（2016年 三重公立入試 類似）

1. ベルサイユ条約
2. ポーツマス条約
3. 下関条約
4. サンフランシスコ平和条約

問3 1914年と1919年の日本国内における生産額を比較すると、1914年時点では農業が優位でしたが、1919年には工業の生産額が農業を上回るという大きな転換が見られました。第一次世界大戦による好景気を背景に、日本の主軸産業が農業から工業へと移り変わったこの現象を何といいますか。（2021年 愛媛公立入試 類似）

1. 工業化
2. 情報化
3. 商業化
4. 都市化

問4 第一次世界大戦期の日本において、輸出の急増に伴い、1914年から1918年にかけて輸出額が輸入額を大きく上回る好景気となりました。この状況を何と呼びますか。（2015年 兵庫公立入試 類似）

1. 大戦景気
2. 昭和恐慌
3. バブル経済
4. 産業革命

問5 1911年に平塚らいてうらが結成し、女性の手による文芸雑誌を発行した団体の名称と、その創刊号に寄せられた言葉の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 岡山公立入試 類似）

1. 青鞥社 — 「元始、女性は太陽であった」
2. 新婦人協会 — 「元始、女性は太陽であった」
3. 青鞥社 — 「君死にたまふことなかれ」
4. 新婦人協会 — 「君死にたまふことなかれ」

問6 第一次世界大戦直前のヨーロッパの軍事同盟の組み合わせについて、一方は「イギリス・フランス・ロシア」、もう一方は「ドイツ・イタリア・（ ）」という構成でした。（ ）に当てはまる国と、その国が当時抱えていた状況の説明として正しい組み合わせを選びなさい。（2019年 愛媛公立入試 類似）

1. オーストリア・ハンガリー — バルカン半島への進出を巡って、ロシアやセルビアと対立していた。
2. ロシア — 社会主義革命の影響により、ドイツとの同盟を維持することが困難になっていた。
3. アメリカ合衆国 — ヨーロッパの紛争には干渉しないという外交方針を捨て、ドイツと同盟した。
4. オスマン帝国 — イギリスと密接な軍事協力を結び、三国協商の一角を担っていた。

問7 1914年から4年余り続いた第一次世界大戦を正式に終結させるため、1919年にフランスで開催された会議を経て結ばれた講和条約の名称を選択してください。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. ベルサイユ条約
2. ポーツマス条約
3. サンフランシスコ平和条約
4. 下関条約

問8 1914年の時点では農業生産額が1401百万円、工業生産額が1372百万円であり、農業が上回っていました。しかし、1919年には農業が4162百万円に対し、工業は6738百万円と大幅に逆転しました。この変化が起きた時期に、日本が海外から受けた経済的影響として正しいものはどれですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）

1. 輸出額が輸入額を大きく上回ったことで、日本は債務国から債権国へと転換した。
2. 輸入額が輸出額を上回る貿易赤字が続いたため、国内で深刻なデフレが発生した。
3. アメリカの株価暴落に端を発した不況により、生糸の輸出が止まり経済が混乱した。
4. 朝鮮戦争に伴う軍事物資の注文が相次ぎ、日本経済は戦後復興の足がかりを得た。

問9 大正時代から昭和時代初期にかけて、政府が社会主義運動や労働運動などの高まりを抑えるために制定した「治安維持法」に関する記述として、その背景や内容が正しく述べられているものはどれか。（2022年 鳥取公立入試 類似）

1. 1925年に男子普通選挙法とほぼ同時に制定され、国体（天皇制）の変革や私有財産制度の否認を目的とする結社を取り締まった。
2. 米騒動による混乱を鎮めるために原敬内閣が制定した法律であり、米の買い占めや売り惜しみをした商人を厳罰に処すことを目的としていた。
3. 日露戦争の開戦に反対した非戦論者たちを逮捕するために作られた法律であり、新聞や雑誌の検閲を主な目的としていた。
4. 国際連盟への加盟を機に、世界基準の労働条件を整えることを目的として制定され、労働者の権利を法的に保護する役割を果たした。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 中国：五・四運動、朝鮮半島：三・一独立運動	1919年はアジアの民族運動における重要な転換点です。中国では山東省の利権問題から五・四運動が起こり、朝鮮半島では日本の植民地支配からの独立を求めて三・一独立運動が発生しました。いずれもパリ講和会議の流れや、民族自決という新しい国際的な考え方に呼応して起こったものです。他の選択肢は、発生時期が1919年ではない、あるいは別の歴史的事象を指しています。
問2	答え 1 ベルサイユ条約	1914年に始まった第一次世界大戦は、ドイツの降伏によって1918年に休戦を迎えました。その翌年、フランスのパリで講和会議が開かれ、敗戦国ドイツに対して厳しい条件を突きつけるこの条約が結ばれました。日本も戦勝国の一員として参加しています。
問3	答え 1 工業化	第一次世界大戦中、ヨーロッパ諸国が戦場となったことで、日本からアジアへの輸出が急増し、日本は「大戦景気」と呼ばれる空前の好景気となりました。この時期に工場での生産活動が飛躍的に伸びた結果、1919年には統計上で初めて工業生産額が農業生産額を上回り、日本が本格的な工業国へと歩み始めたことを示しています。
問4	答え 1 大戦景気	第一次世界大戦による輸出拡大を背景とした好景気は「大戦景気」と呼ばれます。この時期、日本はそれまでの借金国（債務国）から金を貸す国（債権国）へと転じ、造船業や鉄鋼業などの重化学工業も大きく発展しました。また、この好景気によって短期間で莫大な利益を得た「成金（なりきん）」と呼ばれる人々が登場したことも、この時代の社会的な特徴です。
問5	答え 1 青鞜社 — 「元始、女性は太陽であった」	平塚らいてうは、女性の自覚と地位向上を目指して青鞜社を結成し、雑誌『青鞜』を創刊しました。創刊号の冒頭に記された「元始、女性は太陽であった」という言葉は、女性が本来持っていた輝きを取り戻そうとする当時の女性解放運動を象徴するフレーズとして知られています。「君死にたまふことなかれ」は与謝野晶子の詩の一節です。
問6	答え 1 オーストリア・ハンガリー — バルカン半島への進出を巡って、ロシアやセルビアと対立していた。	ドイツ、イタリアとともに三国同盟を構成していたのはオーストリア・ハンガリーです。同国は多民族国家であり、バルカン半島への勢力拡大を狙っていましたが、同じくバルカン半島での影響力を強めようとするロシアや、民族主義を掲げるセルビアと激しく対立していました。この対立が、サラエボ事件から第一次世界大戦へとつながる直接的な火種となりました。
問7	答え 1 ベルサイユ条約	第一次世界大戦の休戦後、1919年にパリ講和会議が開かれ、戦勝国と敗戦国ドイツの間でこの条約が締結されました。条約に基づき、ドイツには多額の賠償金や軍備制限、領土の割譲といった非常に厳しい条件が課されました。日本では、この時期は大正時代に当たります。
問8	答え 1 輸出額が輸入額を大きく上回ったことで、日本は債務国から債権国へと転換した。	大戦景気の期間中、日本は連合国への軍需品輸出や、アジア市場への綿織物輸出が好調で、大幅な貿易黒字を記録しました。これにより、これまで外債を抱えていた「債務国」から、海外に対して資金を貸し付ける「債権国」へと立場を変えました。提示された1914年から1919年の統計数値は、この短期間での急激な工業化と経済成長を裏付けるものです。
問9	答え 1 1925年に男子普通選挙法とほぼ同時に制定され、国体（天皇制）の変革や私有財産制度の否認を目的とする結社を取り締まった。	治安維持法は、1925年に加藤高明内閣によって制定されました。これは、25歳以上のすべての男子に選挙権を与える「男子普通選挙法」による社会への影響を恐れ、セットで導入された側面があります。主な目的は、天皇制を否定する動きや、共産主義のような私有財産制を否定する社会主義運動を厳しく取り締まり、国家の体制を維持することにありました。